

## 4 道徳教育

### (1) 道徳教育

#### ① 道徳教育校長等指導者養成実践講座（中央講座）

ア 主 催 文部省

イ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ 期 日 平成10年10月19日～10月22日

氏 名	勤 務 先	職名
遠 藤 育 夫	郡山市立中野小学校	校長
吉 岡 映 子	伊達郡保原町立大田小学校	教頭
陳 野 英 壽	東白川郡棚倉町立棚倉小学校	教頭
佐 藤 正	いわき市立小白井中学校	校長
星 秀 司	南会津郡伊南村立伊南中学校	教頭
小野田 敏 之	相馬市立磯部中学校	教頭

#### ② 道徳教育校長等指導者養成実践講座（都道府県講座）

ア 主 催 文部省、福島県教育委員会

イ 会 場

各管内ごとに設定（8会場……県中2会場）

ウ 期 日

各管内ごとに3日を設定

（始期6月6日、終期12月3日）

エ 参加者数

小学校 249名 中学校 128名 計 377名

#### ③ 道徳教育指導行政担当者養成講座

ア 主 催 文部省

イ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ 期 日 平成9年7月8日～7月11日

エ 受講者 5名（指導主事）

#### ④ 小学校教育研究会道徳部会

ア 研究主題

「心豊かでよりよく生きることを求める実践できる子供を育む道徳の指導はどうあればよいか」

イ 主 催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会  
関係市町村教育委員会

ウ 会場・期日

地区 各地区ごとに設定（16会場）7月～10月

県 只見町立明和小学校

#### ⑤ 中学校教育研究会道徳部会

ア 研究主題

「生徒一人一人に人間としての生き方についての自覚を深めさせる道徳の時間の指導はどうあればよいか」

イ 主 催

福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会  
関係市町村教育委員会

ウ 会場・期日

地区 各地区ごとに設定（16会場）7月～10月

県 喜多方市立第二中学校

### (2) 平成10年度道徳的実践活動推進事業

#### ① 趣 旨

今日の変化の激しい社会にあって、児童生徒が主体性をもってよりよく生きていくためには、日常生活における具体的な実践に結びつく道徳的実践力の向上を図ることが重要である。

このような道徳的実践力を育成するために、学校・家庭・地域社会が連携を図り、豊かな体験活動の場を児童生徒に提供する。

#### ② 福島県ハートフル子どもフォーラム

ア 主 催 福島県教育委員会

イ 会 場 福島県庁 正庁

ウ 期 日 平成10年11月11日

エ テ ー マ 「友だちと語ろう人間としての生き方」

オ 体験発表 霊山町立石田小学校

泉崎村立泉崎中学校

会津若松市立永和小学校

会津若松市立神指小学校

会津若松市立第六中学校

カ 参 加 者 県北管内市町村代表児童・生徒・教員

県南管内市町村代表児童・生徒・教員

道徳的実践活動地区（会津若松市立第六中学校区）代表児童・生徒・教員

#### ③ 道徳的実践活動支援事業

ア 道徳的実践活動地区（会津若松市立第六中学校区）

（活動内容）

・学 校一あいさつ運動、ボランティア活動、

清掃活動、栽培活動、交流活動

・家 庭一あいさつ、我が家のルールづくり

・地域社会一あいさつ運動、

地区行事や伝統行事への参加

イ 学校道徳推進委員会

（会場・期日・及び内容）

・第1回 会津若松市立第六中学校

平成10年8月29日

支援事業の概要

学区としての取り組み

・第2回 会津若松市立神指小学校

道徳の授業の参観

支援事業の推進状況

・第3回 会津若松市立第六中学校

本年度の活動内容の反省

来年度の見通し

#### ④ 道徳的実践活動推進会議

ア 主 催 福島県教育委員会

イ 会 場・期日及び内容

第1回 田島町中央公民館 平成10年7月13日

委嘱状交付

推進会議の趣旨把握

道徳教育の現状と課題の把握

第2回 田島第二小学校 平成10年9月7日

学校における道徳教育の現状（授業参観）